

国土交通省への質問事項

- 1 若宮戸の洪水対策を国交省はどう考えていたか。(越水する可能性を高いと想定していたふしがある。)
- 2 三坂決壊地点付近で河道の土砂の搬出していた事実があり、ダンプの出入り口で堤防が低くなっていたため、もろくなっていたのではないか。(国交省の検証では直接的な影響はないとの見解であるが、その判断基準を聞きたい。)
- 3 今回パイピングした場所は、堤防としての強度が十分であるかどうか。(今後の整備計画ではどのように考えているか。)
- 4 2013年発表の鬼怒川における洪水シミュレーションを国交省は市に伝えていたか、又はそれを一般に公表した事実はあるか。
- 5 新八間堀川の水海道排水機場で9月10日の13時から22時30分までポンプの運転を中断した理由は何か、またポンプ中断と再開の連絡は市にしたのか。(決壊後鬼怒川の水位は下がっていたはずである。)更に、新八間堀川の国の管理部分の状況はどうであったか。今後の八間堀川の樋管等の管理をどう考えているか。(樋管等の管理は一元化する必要があるのではないか。)
- 6 国から県や市側に情報提供した内容を時系列に示して欲しい。(FAX・メール・電話等すべてのもの)
- 7 鬼怒川(若宮戸以外の)と小貝川の氾濫シミュレーションの有無、有る場合は提示して欲しい。
- 8 八間堀川は1級河川であり、水害に対応できるような整備をお願いしたいが、どのような考えを持っているか。(鬼怒川と小貝川にきちんと排水出来るような環境整備)
- 9 若宮戸の無堤地帯は平成13年から出水の危険性があったにもかかわらず、対策を講じなかったのはなぜか。(国と市とどのような調整を行っていたのか。)
- 10 河川の整備は下流からが原則と言いながらも、なぜ下流部分が整備されなかったのか。